

ご質問
地域福祉計画

<p>1-(2)-②</p> <p>【拡充】コーディネート人材を確保し、コーディネート機能の強化を図ります。</p>	<p>ご質問</p> <p>・DoとActがほとんど同じ記述になっている。A評価だが、コーディネート機能を強化していく上で障害も課題もなかったのか。</p>	<p>回答</p> <p>Act部の記述に誤りがございました。以下のとおり記載を改めさせていただきました。</p> <p>【福祉のまちづくり委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会において地域課題の解決を検討するための個々の委員の知識習得を進める。 ・地域の関係者とのネットワークを更なる構築 ・委員以外の幅広い意見を収集する目的での定期的な住民懇談会の実施 ・CSWが各委員会を担当し、併せて委員会の統括担当も配置し、偏りのない運用ができるよう努める。 <p>【福祉のまちづくり協議委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域アセスメントを今後実施し、福祉のまちづくり委員会への情報提供等を行っていく。 ・福祉のまちづくり委員会で解決することが難しい課題について協議を行っていく。 <p>課題については、上記に記載いたしましたように、個々の委員の知識が十分ではなかったこと、困難な課題に対応できるネットワークの構築が十分ではなかったことなどが挙げられます。</p>
<p>重層的支援体制整備事業実施計画</p>		
<p>4-(1)・(2)・(3)・(4)</p> <p>包括的相談支援事業の実施</p>	<p>ご質問</p> <p>取り組んだ上で何らかの課題があったのではないかと。新たな課題の発見と解決があって、新たな展開ができると考える。</p>	<p>回答</p> <p>既に実施している事業が主となる事業となります。計画改定にあわせて課題の洗出しをし、必要に応じて新たな展開の検討を行ってまいります。</p>
<p>6-(2)・(3)</p> <p>多機関協働事業の実施</p>	<p>ご質問</p> <p>重層的支援の中でもかなり重要な事業である。しかし「支援会議」「重層的支援会議」共に行うことができず、評価はDとなっている。その原因と今後の展望はどうなっているか。</p>	<p>回答</p> <p>前回ご回答させていただきましたとおり、既に重層的支援会議と同じような会議体において調整を行っており、高齢の親と障がいのあるお子さんが抱える生活課題について、それぞれのケースワーカーで調整をする等で対応をしております。ただし、どのように系統的に構築していくのかという点について検討が必要と考えており、つなぐシートから実際に重層的支援会議に繋がるケースや、地域ケア会議から繋がるケース、相談窓口で対応する中で、どの会議体でも調整ができないようなケース等様々なケースの発生が想定されません。昨年度では当整理をまとめ切ることができませんでしたため、実施には至りませんでした。今後、どのようなケースでも、混乱なく重層的支援会議に位置付けられるよう、現在福祉政策課の職員が様々なケース会議等に入り、システム構築の検討をしております。</p>